

福島の子どもたちを守ろう、全国のお母さん立ち上がる！

本日はお忙しい中、アクション「福島の子どもたちを守ろう、全国のお母さん立ち上がる」の記者会見に出席して下さりありがとうございます。

「福島、そして日本の子どもたちを放射性物質から守りたい。原発のない、子どもたちが放射性物質に怯えることなく安心して暮らせる社会を作りたい」という想いを要望書にして、経済産業省原子力安全・保安院、厚生労働省、文部科学省に届けました。原子力安全・保安院と厚生労働省では、私たちの希望により、要望書は建物入り口で職員お方にお渡し私たちの想いを伝えました。文部科学省では、職員の方に約30分お時間を取っていただき、福島のお母さんたちの想いと要望をお伝えしました。また、今回のアクションの参加者のメンバーが運営するSTOP! 浜岡原発 www.stophamaokanuclearpp.com で集めた電子署名「代替エネルギーの開発・推進、浜岡原発の廃炉、日本国内すべての原発運転停止」を求めたメッセージ付き電子署名(52ヶ国1地域6788人)を原子力安全・保安院と文部科学省に提出しました。

いのちを守るお母さん全国ネットワーク

福島第一原発事故後の反・脱原発のパレードやイベントで知り合ったお母さんたちを中心とするゆるやかなネットワークです。年齢職業はさまざまですが、「子どもたちが放射性物質に怯えることなく安心して暮らせる社会を作りたい」という想いで繋がっています。東京、関西、福島、名古屋、福岡・・・、ネットワークは広がっています。代表はまだ決まっておらず、きちんとした組織になっていません。今後は福島のお母さんたちの意見を聞きながら、福島の子どもたちに何ができるかを考えていきたいと思っています。よろしくお祈りします。

スケジュール

14:00 経済産業省原子力安全・保安院、原子力安全広報課原子力保安統括管理官(経済産業研修所原子力安全研修室長)高取静雄様に要望書と署名を提出

14:20 厚生労働省医薬食品局食品安全部基準審査課総務係長 城間勇治様に要望書を提出

15:00 厚生労働省、文部科学省大臣官房総務課法令審議室審議第二係 江崎修司様に要望書と署名を提出
文教施設企画部施設助成課整備計画係長 福山啓三様、初等中等教育局初等中等教育企画課教育制度改革室専門職 今田潤様、科学技術・学術政策局原子力安全課総括係長 宮澤武志様、研究開発局原子力課総括係長 長田有生様、スポーツ・青少年局学校健康教育課企画・健康教育係長 田島博樹様、学校健康教育課学校給食係長 荒木優一様とお母さんたちとの面談。文部科学省大臣官房総務課法令審議室審議第二係大野様も対応して下さいました。

15:40 記者会見

アクション報告:主婦 戸倉由紀枝(44)

いのちを守るお母さん全国ネットワークについて:二児の母 村上史枝(31歳)

名古屋からのお母さんのメッセージを朗読:名古屋で3月末に「脱原発を歩こう~STOP 浜岡パレード」を企画・実施した大学生 関口詩織(18歳)

福島からのお母さんの手紙を朗読:二児の母 増山麗奈(34)

福島から4人のお母さんのお話

質疑応答

福島のお母さんの話を聞く会

時間: 16:30-18:00 場所: 参議院議員会館 B104 定員: 60名(予約はなく先着順です)

参加費: 無料(資料のコピー代としてカンパをお願いしたところ5,669円をいただきました。資料コピー代と報告会での参加者、お母さん、子どもたちの飲み物代として使わせていただきました。ありがとうございます。)

内容: 福島のお母さんたちのインタビュー映像を見て、福島のお母さんたちのお話を聞きます。そして福島の子どもたちに何ができるかを話し合います。

福島のお母さんたちのメッセージ DVD(円)で配布、撮影・監督/森愛和尚、エグゼグティブクリエイター/横須賀祐治、企画・監修/増山麗奈(いのちを守るお母さん全国ネットワーク)

アクション実施協力団体

子どもたちを放射能から守る 福島ネットワーク <http://kofdomofukushima.at.webry.info/>

原発に不安を感じるママの会 http://www.geocities.jp/mama_huan/

「ママは原発いりません」福岡 <http://mamagen.jimdo.com/>

いのちを守るお母さん全国ネットワーク

<http://ameblo.jp/inochimother/>

E-mail: inochimother@gmail.com

東京支部: 横関彩子

関西支部: 増山麗奈

2011年6月3日

経済産業大臣 海江田万里様

原子力安全・保安院長 寺坂信昭様

原発のない、子どもたちが放射性物質に怯えることのない 安心して暮らせる社会を市民とともに目指して下さい

福島第一原発事故以来、収束のために日夜ご尽力いただき、ありがとうございます。

地震、津波、福島第一原発事故が起きて以来、全国のお母さんたちは福島の人たちのことをとても心配し、胸を痛めています。特に子どもたちのことが心配です。これ以上、子どもたちが放射性物質に怯える社会を作ってははいけません。私たち大人は、未来を担う子どもたちのために、安心して暮らせる日本を残していく責務があります。

以下四点を関係各所に働きかけ、『原発のない、子どもたちが放射性物質に怯えることのない安心して暮らせる社会』を市民とともに目指して下さいようお願いいたします。

1. 福島第一原発、原子力発電所、放射性物質に関する正しい情報を市民に公開することを求めます。原子力 PR 館等において、原子力発電所の安全性と危険性について、スリーマイル、チェルノブイリ、福島第一原発事故などを例として説明して下さいを求めます。
2. 福島第一原発事故後に暫定的に決定した、食物、大気、水中での放射線量を、外国政府や国際機関の平常時における基準値を参考に再検討して下さいを求めます。
3. クリーンで安全な代替エネルギーの開発を進め、日本国内全ての原子力発電所の運転停止を目指して下さいを求めます。
4. 「脱原発」とクリーンで安全な代替エネルギーの開発のために、国内外の諸機関と情報交換を行い連携することを求めます。

日本には54基の原発があり、地震が起きれば福島第一原発のような事故は全国どこでも起きる可能性があります。福島第一原発事故以降、全国で反・脱原発のパレードやイベントが実施され、関連するホームページが立ち上げられています。そうしたことを通じて同じ想いを持つお母さんたちが知り合い、「福島そして日本全国の子どもたちを守ろう」というネットワークが自然に生まれました。

私たちは、今後とも経済産業省、原子力安全・保安院が出す正しい情報を学び、福島そして日本全国の子どもたちの健康と環境について考えていきたいと思えます。そして節電や省エネを心がけた暮らしをし、原発に頼らない、子どもたちが放射性物質に怯えることのない社会を国とともに作っていききたいと思えます。私たちの「子どもを守りたい」という願いをお聞き入れいただけますようお願い申し上げます。

いのちを守るお母さん全国ネットワーク

東京支部:横関彩子

関西支部:増山麗奈

6.3 アクション事務局:戸倉由紀枝

Tel: 090-4401-8774

E-mail: inochimother@gmail.com

厚生労働大臣 細川律夫様

いつも国民のためにご尽力いただき、ありがとうございます。

地震、津波、福島第一原発事故が起きて以来、全国のお母さんたちは福島の人たちのことをとても心配し、胸を痛めています。特に子どもたちのことが心配です。

福島第一原発事故後、厚生労働省の2011年3月17日付け文書『放射能汚染された食品の取り扱いについて』で、水・牛乳・乳製品に含まれる放射性ヨウ素が300Bq/kgとされています。この数値は、「100Bq/kgを超えるものは、乳児用調整粉乳及び直接飲用に供する乳に使用しないよう指導すること」と注意書きがされています。¹ 消費者の健康の保護、食品の公正な貿易の確保等を目的として、1963年にFAO及びWHOにより設置された国際的な政府間機関コーデックス委員会（日本は1966年より加盟）²によると、放射性ヨウ素131Iは乳幼児・成人の乳製品ともに全て100Bq/kgと定められています。³ また世界保健機関が定める数値よりも高くなっています。注釈で、「WHOの飲料水水質ガイドラインは、原子力危機に際しての基準値とすべきではない。なぜなら、この数値は日常時における飲料に対する適用を念頭に、かなり保守的に設定されているからである。」とも記載されています。⁴

しかし、細胞分裂が盛んな子どもたちは放射性物質に影響されやすく、原子力危機が起こったからといって子どもたちの身体が放射性物質に対して強くなるわけでもありません。コーデックス委員会や外国政府などの国際基準をもとにこの指標について再検討して下さい、食品安全委員会に働きかけてくださるようお願いいたします。

日本には54基の原発があり、地震が起きれば福島第一原発のような事故は全国どこでも起きる可能性があります。福島第一原発事故以降、全国で反・脱原発のパレードやイベントが実施され、関連するホームページが立ち上げられています。そうしたことを通し、同じ想いを持つお母さんたちが知り合い、「福島そして日本全国の子どもたちを守ろう」というネットワークが自然に生まれました。

私たちは、厚生労働省が出す正しい情報を学び、福島、そして日本全国の子どもたちの健康と環境について考えていきたいと思えます。私たちの「子どもを守りたい」という願いをお聞き入れ下さるようお願い申し上げます。

いのちを守るお母さん全国ネットワーク

東京支部：横関彩子

関西支部：増山麗奈

6.3 アクション事務局：戸倉由紀枝

Tel: 090-4401-8774

E-mail: inochimother@gmail.com

<http://ameblo.jp/inochimother/>

¹ 厚生労働省食安発 0317 第3号平成23年3月17日放射能汚染された食品の取り扱いについて
<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000001558e-img/2r9852000001559v.pdf>

² 農林水産省コーデックス委員会 <http://www.maff.go.jp/j/syouan/kijun/codex/index.html>

³ CATEGORY Contaminants, Title General Standard for Contaminants and Toxins in Food and Feed, Titre Norme générale pour les contaminants et les toxines présents dans les produits destinés à la consommation humaine et animale
Título Norma General para los Contaminantes y las Toxinas presentes en los Alimentos y piensos, VOLUME 1A Reference CODEX STAN 193, Year 1995

http://www.codexalimentarius.net/web/more_info.jsp?id_sta=17
Codex Standard 193-1995 TABLE 2 (Page 37)

ASSESSMENT OF EFFECTIVE DOSE FOR INFANTS AND ADULTS FROM INGESTION OF IMPORTED FOODS IN A YEAR

⁴ World Health Organization 水道水汚染について更新 2011年3月31日(ジュネーブ時間)

http://www.who.or.jp/index_files/FAQ_Drinking_tapwater_JP.pdf

2011年6月3日

文部科学大臣 高木義明様

福島の子どもたちが安全で安心して暮らせるようお願いいたします

いつも子どもたちのためにご尽力いただき、ありがとうございます。

地震、津波、福島第一原発事故が起きて以来、全国のお母さんたちは福島の人たちのことをとても心配し、胸を痛めています。特に子どもたちのことが心配です。これ以上、子どもたちが放射性物質に怯える社会を作っては いけません。私たち大人は、未来を担う子どもたちのために、安心して暮らせる日本を残していく責務があります。

福島の子どもたちがより安全で安心して暮らせるよう以下七点を関係各所に働きかけていただきますようお願い いたします。

1. 高木義明文部科学大臣と福島のお母さん、お父さんとの面談の実施(5月23日に福島のお母さん、お父さん、 全国からの支援者が文部科学省に行きましたが、高木義明文部科学大臣にはお会いできませんでした)。福 島のお母さんとお父さんに会って要望を聞いて下さるようお願いいたします
2. 福島の子どもたちの学校等の校舎、校庭等の年間の放射線量 20mSv 即時撤回
3. 学校等の校舎、校庭以外の放射線量のモニタリングの実施と子どもたちが安全に生活できる環境作り
4. 必要に応じ国と電力会社の費用負担での集団学童疎開・避難の実施、また自主的に避難と疎開を行場合 は、国と電力会社による経済支援の実施
5. 放射線物質を除去する特別仕様のフィルター付きのエアコンの校舎への設置
6. 給食の食材の産地の情報公開と放射線量の計測、および給食とお弁当の選択制の実施
7. 全国の保育所、幼稚園、学校での放射線量のモニタリングの実施と公開

日本には 54 基の原発があり、地震が起きれば福島第一原発のような事故は全国どこでも起きる可能性があり ます。福島第一原発事故以降、全国で反・脱原発のパレードやイベントが実施され、関連するホームページが立 ち上げられています。そうしたことを通し、同じ想いを持つお母さんたちが知り合い、「福島そして日本全国の子ど もたちを守ろう」というネットワークが自然に生まれました。

私たちは、今後とも文部科学省が出して下さる正しい情報を学び、福島、そして日本全国の子どもたちの健康と 環境について考えていきたいと思えます。私たちの「子どもを守りたい」という願いをお聞き入れ下さるようお願い 申し上げます。

いのちを守るお母さん全国ネットワーク

東京支部: 横関彩子

関西支部: 増山麗奈

6.3 アクション事務局: 戸倉由紀枝

Tel: 090-4401-8774

E-mail: inochimother@gmail.com

<http://ameblo.jp/inochimother/>